

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー【2017No.55】(HP 収載)

分類： CD

作曲家：

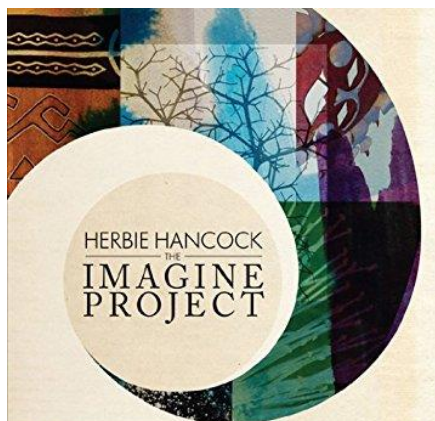
曲名：イマジン他

演奏：ハービー・ハンコック

発売：ソニー・クラシカル

No. : LC06868

概要：



本 CD の紹介記事を引用して示します。

「70歳を迎えたジャズ界の巨匠が放つ超話題作！」

2010年4月12日に70歳の誕生日を迎えたジャズ界の巨匠ハービー・ハンコック。その新作がなんとソニー・クラシカルから登場します。「イマジン・プロジェクト」と題された新作は、「平和と地球規模の責任」をアルバム・コンセプトとして、音楽ジャンルにとらわれない視点から人選されたミュージシャンが参加し、世界各地でレコーディングと映像のプロジェクトが同時に行われました。アルバムの監修にはラリー・クライン（ジョニ・ミッチェルなどを手がける）が、また映像監修にはアカデミー賞長編ドキュメンタリー賞受賞監督のアレックス・ギブニーが参画しています。とにかく、曲も参加アーティストも、話題性十分なスペシャル・アルバムといえる1枚となっています。このアルバムの米国発売（6月22日）にあわせ、ニューヨークの「ケアフュージョン・ジャズ・フェスティバル」開催期間中の6月24日に、バースデイ・コンサートの開催が予定されています。70歳を迎えてなおいっそう新しい試みに果敢に挑戦するジャズ・キーボーディストの第一人者の動きから今年も目が離せません。」

【収録曲】

1. イマジン

2. ドント・ギヴ・アップ
3. テンポ・ヂ・アモール／愛の季節
4. スペース・キャプテン
5. 時代は変る
6. ラ・ティエラ
7. 死はここに／エクソダス
8. トゥモロウ・ネヴァー・ノウズ
9. チェンジ・イズ・ゴナ・カム
10. ザ・ソング・ゴーズ・オン

関連して下記 2 枚の CD も聴いてみました。

UCCU5558



【収録曲】

1. ニュー・ヨーク・ミニット
2. マーシー・ストリート
3. ノルウェーの森
4. ホエン・キャン・アイ・シー・ユー
5. バッド・ガール
6. スترونガー・ザン・プライド
7. スカボロ・フェア
8. シーヴス・イン・ザ・テンプル
9. オール・アポロジーズ
10. マンハッタン
11. ユア・ゴールド・ティース 2

SICP-4261



【収録曲】

Disc1

- 01.サムデイ・マイ・プリンス・ウィル・カム
- 02.ライザ
- 03.バトン・アップ

Disc2

- 01.フェブラリー・モーメント (2月の出来事)
- 02.処女航海
- 03.ラ・フィエスタ

2010年70歳の誕生日を迎えたハービー・ハンコックの「イマジン・プロジェクト」と題された新作のCDです。ハービー・ハンコックのピアノが Fazioli かどうかを耳で確かめるために聴いてみることにしました。

ハービー・ハンコックは Fazioli のオーナーであるだけでなく、Fazioli がなければコンサートを殆ど断るそうですし、来日時も実際に Fazioli が準備されたそうです。なお、Fazioli のオーナーになれて誇らしいと言った年代が分かりませんので、年代を替えた追加の上記 CD を選びました。

<https://fazioli.co.jp/diary/2013/11/post-45.html>

<https://fazioli.co.jp/diary/2015/03/Herbie%20and%20Chick%20with%20Fazioli.html>

<https://fazioli.co.jp/diary/2013/10/post-43.html>

<https://fazioli.co.jp/people/people26.html>

A : SICP-4261・4262 1978年録音

B : UCCU-5568 1996年録音

C : LC06868 2010年録音

年代の古いAから順に聴いていきましたが、AはNYスタンウェイのようにも聴こえるしはっきりしません。Bは、他の楽器が鳴っていないピアノソロのパートを聴きながら、消去法でスタンウェイでもヤマハでもベーゼンドルファーでもない・・・ということ

で Fazioli ではないかと推測されます。メインターゲットの新作の C は B の傾向がより明確に捉えられ、消去法で Fazioli ではないかとより強く感じられます。

[ディスコグラフィー【2017No.54】](#)で報告した、キース・ジャレットのケルンコンサートと比べると、キース・ジャレットのピアノの方が重厚で、ハービー・ハンコックのピアノの方が華やかで軽快な感じがします。

以上